

つくろうよ 笑顔のおいしい 大原を
大原まちづくりの会だより
NO.11

平成 29 年 2 月 9 日
発行元
大東町大原字川内 5-1
(大原市民センター内)
大原まちづくりの会
事務局
Tel.72-2282

平成28年度 ふるさとづくり大賞 総務大臣賞受賞
おめでとうございます

下内野自治会



表彰式に出席した下内野自治会長 勝部欣一さんと 日本大学教授 河野英一先生

大変うれしい報告がありました。

2月4日(土)下内野自治会の取り組みが「平成28年度 ふるさとづくり大賞団体表彰 総務大臣賞」を受賞し、岩手県から唯一の受賞団体となりました。

この表彰は、全国各地でそれぞれのところをよせる地域「ふるさと」を、より良くしようと頑張る団体、個人を表彰することで、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的とした国の取り組みです。

下内野自治会が評価された点は (下内野自治会長 勝部欣一 談)

このたびの受賞は、過疎と高齢化が進むわずか40世帯の自治会が、平成11年に地域づくり計画「下内野4WD計画」(※4=老若男女、Water=水、Dream=夢)を策定し、活力ある地域づくりに取り組んできたこと。「かじかの里」をキャッチフレーズに、石磨き大会を通して水質保全活動と意識啓発活動に取り組み、住環境の充実、宅地分譲による移住者の受け入れ等、地域が一丸となり長年取り組んできたこと。

特に評価された点は、

- ① 地域が身銭を切る発想が重要で「ない、ない」と嘆かずに、そこにある資源を最大限に活用していること。
- ② 地域づくりの仲間として、移住者を受け入れ、活性化が図られていること。

この自治会の地域づくりは、地域の皆さんの協力と、長年にわたる日本大学生物資源科学部(河野英一教授研究室)との交流を通して発展してきたもので、日本大学関係者に感謝と御礼の気持ちでいっぱいです。当日の表彰式には日本大学の河野先生にも出席していただきました。